



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月1日

上場会社名 イー・ガーディアン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6050 URL <https://www.e-guardian.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高谷 康久
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 溝辺 裕 TEL 03-6205-8859
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績（2020年10月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	2,343	26.4	416	15.9	452	20.8	274	17.6
2020年9月期第1四半期	1,854	15.1	359	20.6	374	17.6	233	12.9

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 272百万円 (12.7%) 2020年9月期第1四半期 242百万円 (15.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	27.08	—
2020年9月期第1四半期	23.03	—

(注) 「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	5,812	4,420	76.1
2020年9月期	5,642	4,327	76.6

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 4,420百万円 2020年9月期 4,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2021年9月期の1株当たりの配当金につきましては、現在未定です。

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,282	14.5	697	10.5	723	11.8	476	10.5	47.09
通期	8,862	13.0	1,526	14.0	1,557	12.8	1,043	6.4	103.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

「1株当たり当期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期1Q	10,405,800株	2020年9月期	10,405,800株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	278,357株	2020年9月期	278,357株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期1Q	10,127,443株	2020年9月期1Q	10,127,491株

（注1）期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により景気は下押し圧力の強い状態となり、先行きは非常に不透明な状況となっております。

これを受け、国内のインターネット関連市場は、動画視聴及びEC（インターネット通販）等の巣ごもり消費が拡大し、引き続き市場成長が継続しております。加えて、今後もインターネットにおける技術革新はますます進み、様々なサービスが展開されていくものと予想されます。

その一方で、リモートワークの拡大に伴うセキュリティへの不安の高まりや、IoT（※1）によりあらゆるものがリスクにさらされる等、インターネットセキュリティの課題は年々深刻化しております。そのため、全てのインターネットユーザーが安心してインターネットを利用できるよう、投稿監視、カスタマーサポート、及びサイバーセキュリティへの関心は増加しております。

用語説明

（※1）Internet of Things（モノのインターネット）の略称。建物、車、及び電子機器等の様々なモノをネットワークによりサーバーやクラウドサービスへ接続し、相互に情報交換する仕組み。

このような環境のもと、当社グループは経営理念「We Guard All」を掲げる総合ネットセキュリティ企業として、「人とAIのハイブリッド」を強みに、高品質かつ高効率のセキュリティワンストップサービスを提供してまいりました。

加えて、投稿監視業務はインターネット世界の安心を、サイバーセキュリティ業務はインターネット世界の安全を実現するために必要不可欠であり、SDGs（ESG）に代表される社会課題の解決、及び持続可能な社会の構築において当社の存在意義は一層高まっております。

その中で、サイバーセキュリティ領域の強化を目的に、2020年10月にソフトウェア型WAF（※2）の開発を行う株式会社ジェイピー・セキュアを子会社化いたしました。加えて、クラウド型及び次世代型WAFの開発を行う株式会社グレスアベイルを完全子会社化し、自社開発によるWAFのフルラインナップを揃えております。

用語説明

（※2）Web Application Firewallの略称。ウェブアプリケーションの脆弱性を悪用する攻撃を検出・防御し、ウェブサイトを保護するためのセキュリティ製品。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,343,510千円（前年同期比26.4%増）、営業利益は416,319千円（前年同期比15.9%増）、経常利益は452,615千円（前年同期比20.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は274,237千円（前年同期比17.6%増）となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はありません。業務の種類別の業績は以下の通りであります。なお、サイバーセキュリティ業務の拡大に伴い、その他業務の売上をサイバーセキュリティ業務と分けております。また、前年度のその他業務の売上を組み替えて表示しております。

① ソーシャルサポート

ソーシャルサポートはソーシャルWebサービス（※3）等の様々なインターネットサービスを対象に、投稿監視、カスタマーサポート及び風評調査等を提供しております。

新型コロナウイルスの影響によるリモートワークの増加や外出自粛によって、インターネットサービスは需要が増えたもの、減少したもの等、大小様々な影響が出ております。

その中で、当社はコロナ禍においても成長を続ける動画領域に注力いたしました。これまでに蓄積したノウハウとAIの活用により高効率を実現し、売上を拡大いたしました。

その結果、売上高は1,199,515千円（前年同期比70.9%増）となりました。

用語説明

（※3）SNSやブログ等のソーシャルメディアや、ソーシャルゲーム、Eコマース等の、個人同士双方向のコミュニケーションが介在する全てのインターネットメディア。

② ゲームサポート

ゲームサポートはソーシャルゲームを対象に、主にカスタマーサポート及び風評調査等を提供しております。

新開発のカスタマーサポートシステムである「hinagata」によって、メールテンプレートやツールの統合により品質向上と業務効率化を実現し、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

その結果、売上高は586,571千円（前年同期比9.9%減）となりました。

③ アド・プロセス

アド・プロセスはインターネット広告審査業務及び運用代行業務を提供しております。

成長が続く動画市場において、動画に掲載される広告に対する審査に注力いたしました。

その結果、売上高は277,250千円（前年同期比22.5%増）となりました。

④ サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティは主にWAF及び脆弱性診断を提供しております。

株式会社ジェイピー・セキュアは100万サイトを越える導入実績があり、国内利用サイト数1位であるソフトウェア型WAFを提供いたしました。株式会社グレスアベイルは国内初のコンテナ型WAFである新開発の「GUARDIAX」の拡販に注力いたしました。

また、脆弱性診断におきましては、EGセキュアソリューションズ株式会社が、株式会社グレスアベイル及び株式会社ジェイピー・セキュアとのグループシナジーを強みに、既存顧客への深耕営業や新規開拓を目指してまいりました。

その結果、売上高は142,932千円（前年同期比13.8%増）となりました。

⑤ その他

その他は主にハードウェアに対するデバッグ業務を提供しております。

EGテストサービス株式会社が、既存顧客への深耕営業や新規開拓を目指してまいりました。

その結果、売上高は137,240千円（前年同期比8.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、3,886,898千円となり、前連結会計年度末における流動資産4,528,418千円に対し、641,520千円の減少（前連結会計年度末比14.2%減）となりました。

これは主に、売掛金が255,799千円増加した一方、現金及び預金が914,634千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,925,111千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,114,076千円に対し、811,034千円の増加（前連結会計年度末比72.8%増）となりました。

これは主に、のれんが800,496千円増加したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、5,812,009千円（前連結会計年度末比3.0%増）となりました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、1,392,003千円となり、前連結会計年度末における負債1,314,770千円に対し、77,232千円の増加（前連結会計年度末比5.9%増）となりました。

これは主に、未払金が102,604千円増加し、流動負債のその他が172,217千円増加した一方、未払法人税等が153,937千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、4,420,005千円となり、前連結会計年度末における純資産4,327,724千円に対し、92,281千円の増加（前連結会計年度末比2.1%増）となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益274,237千円を計上した一方、子会社株式の追加取得により資本剰余金が74,367千円減少したこと及び剰余金の配当102,882千円を実施したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度の業績予想は、2020年11月4日公表時点から変更なく、現時点で業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,479,065	2,564,431
売掛金	983,633	1,239,432
仕掛品	3,292	9,590
その他	62,427	73,444
流動資産合計	4,528,418	3,886,898
固定資産		
有形固定資産	517,693	520,029
無形固定資産		
のれん	155,707	956,204
ソフトウェア	30,396	28,061
その他	311	311
無形固定資産合計	186,415	984,577
投資その他の資産	409,966	420,504
固定資産合計	1,114,076	1,925,111
資産合計	5,642,494	5,812,009
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,918	5,515
未払金	532,779	635,383
未払費用	20,533	14,985
未払法人税等	271,294	117,356
未払消費税等	206,158	132,317
賞与引当金	103,022	73,692
役員株式給付引当金	—	6,031
その他	40,349	212,566
流動負債合計	1,179,056	1,197,850
固定負債		
役員株式給付引当金	93,298	92,544
退職給付引当金	—	18,682
長期預り保証金	27,007	28,944
その他	15,408	53,982
固定負債合計	135,714	194,153
負債合計	1,314,770	1,392,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	364,280	364,280
資本剰余金	376,512	302,144
利益剰余金	3,924,734	4,096,089
自己株式	△343,468	△343,468
株主資本合計	4,322,058	4,419,046
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,532	959
その他の包括利益累計額合計	2,532	959
非支配株主持分	3,132	—
純資産合計	4,327,724	4,420,005
負債純資産合計	5,642,494	5,812,009

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年10月1日 至 2020年12月31日）
売上高	1,854,485	2,343,510
売上原価	1,174,777	1,519,421
売上総利益	679,708	824,088
販売費及び一般管理費	320,503	407,769
営業利益	359,204	416,319
営業外収益		
受取手数料	173	—
補助金収入	18,914	23,057
保険解約返戻金	—	12,083
その他	1,946	1,216
営業外収益合計	21,033	36,358
営業外費用		
支払利息	720	62
為替差損	3,815	—
その他	906	—
営業外費用合計	5,442	62
経常利益	374,795	452,615
特別利益		
移転補償金	4,463	—
特別利益合計	4,463	—
特別損失		
固定資産除却損	9,939	—
固定資産売却損	—	236
特別損失合計	9,939	236
税金等調整前四半期純利益	369,319	452,378
法人税、住民税及び事業税	93,754	150,567
法人税等調整額	41,973	27,574
法人税等合計	135,727	178,141
四半期純利益	233,591	274,237
非支配株主に帰属する四半期純利益	373	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	233,218	274,237

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年10月1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益	233,591	274,237
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	8,409	△1,573
その他の包括利益合計	8,409	△1,573
四半期包括利益	242,001	272,663
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,627	272,663
非支配株主に係る四半期包括利益	373	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2020年10月1日付で、連結子会社である株式会社グレスアベイルの株式を追加取得いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間において、資本剰余金が74,367千円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が302,144千円となっております。